

ルール変更(修正)

1. **最後のフリースローが成功したときは、どちらのチームにもチャージド・タイム・アウトや交代が認められる。**このとき、チャージド・タイム・アウトや交代が認められる時機は、スロー・インをするプレイヤーがボールを持つ前までである。
スロー・インする人と、スロー・インするチームメンバーを混同しない。
2. ファウルの罰則で、フリースローののちオフィシャルズ・テーブルから遠いほうのセンター・ラインの位置でフリースロー・シューター側のプレイヤーにボールが与えられスロー・インでゲームが再開されるときは、そのフリースローが成功してもしなくても、最後のフリースローのあとに(スロー・インの前に)、どちらのチームにもチャージド・タイム・アウトや交代が認められる。
テクニカル、アンスポ、ディスクオリ及びベンチ、コーチ・テクニカルファウル
3. **第4ピリオドまたは各延長时限の最後の2分間に、次のようなチャージド・タイム・アウトが認められた場合は、チャージド・タイム・アウトのあとゲームを再開するスロー・インは、オフィシャルズ・テーブルから遠いほうのセンター・ラインの位置から行う。**

相手チームがフィールド・ゴールで得点したときに、得点されたチームにチャージド・タイム・アウトが認められた場合。

チャージド・タイム・アウトを認められたチームのバック・コートから、そのチーム(チャージド・タイム・アウトが認められたチーム)にスロー・インのボールが与えられてゲームが再開される場合。

このとき、スロー・インをするプレイヤーはセンター・ラインの延長部分をまたいで立ち、コート内のどこにいるプレイヤーにボールをパスしてもよい。

このスロー・インで、8秒の残り時間があった場合はリセットされる。24秒の残り時間は継続される。(フロントコートにボールが運ばれたとみなす)

このルール変更(修正)は、2006年 4月1日より施行される。